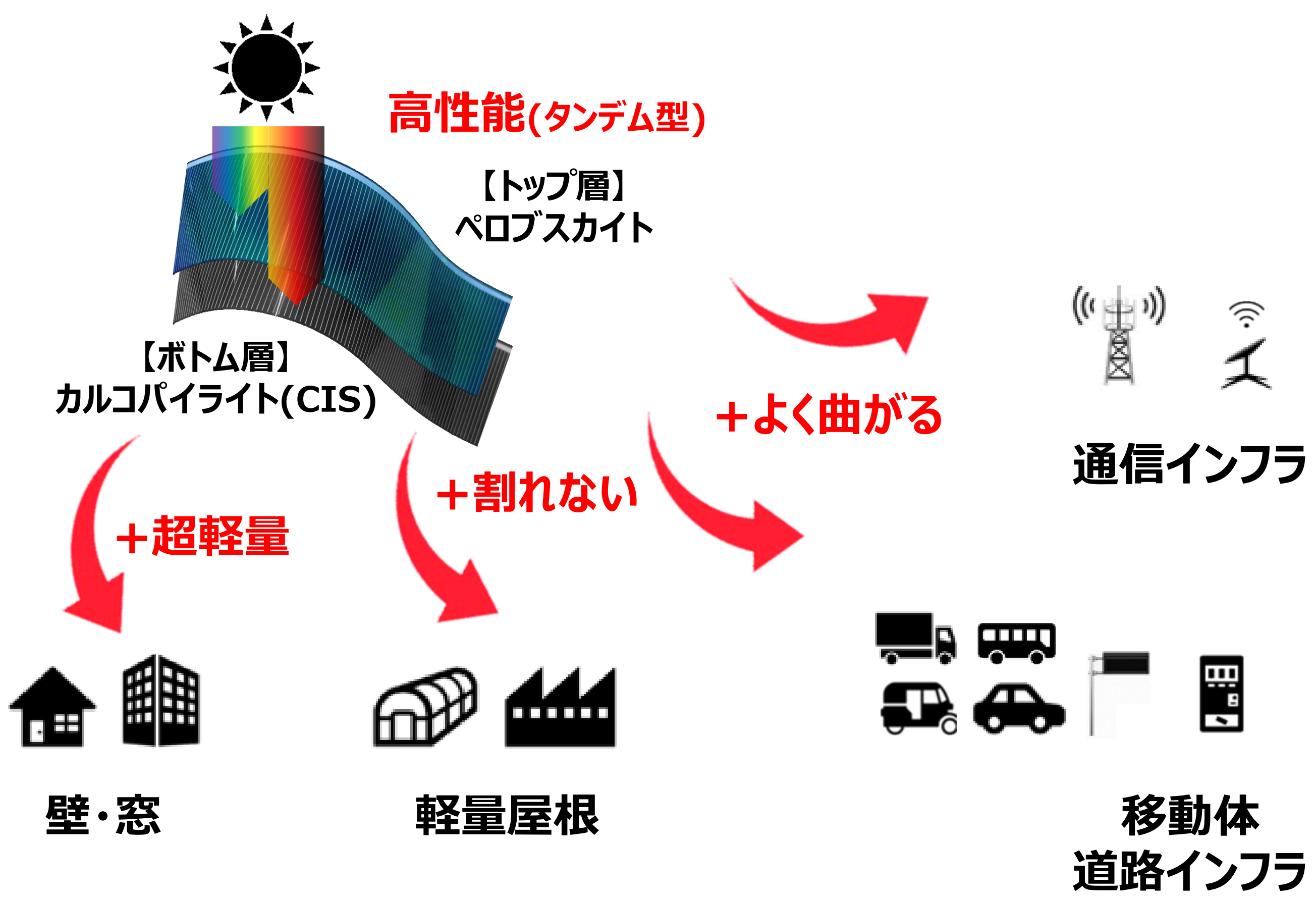


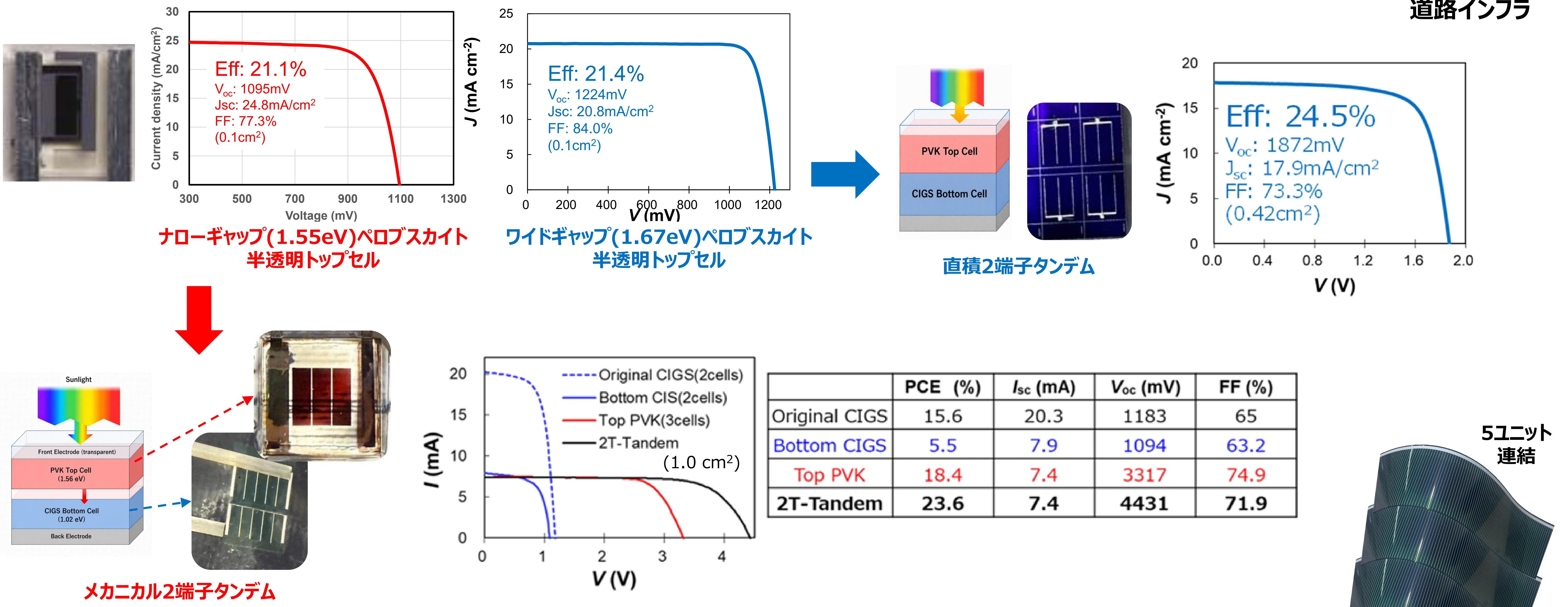
事業の目的・目標

太陽光発電の「適地制約」および「ニーズ多様化」に対応し、「新市場への最大限の導入拡大」を図るため、多用途展開可能なペロブスカイトCIS軽量タンデム太陽電池モジュールの要素技術開発、実用化に耐える耐久性・変換効率の達成を目指す。

- 重さ1kg / m²以下の軽量フレキシブルモジュールにて
- 中間目標（FY2027）
変換効率28%（サイズ304cm²）、耐久性10年
- 最終目標（FY2029）
変換効率30%（サイズ1278cm²）、耐久性20年

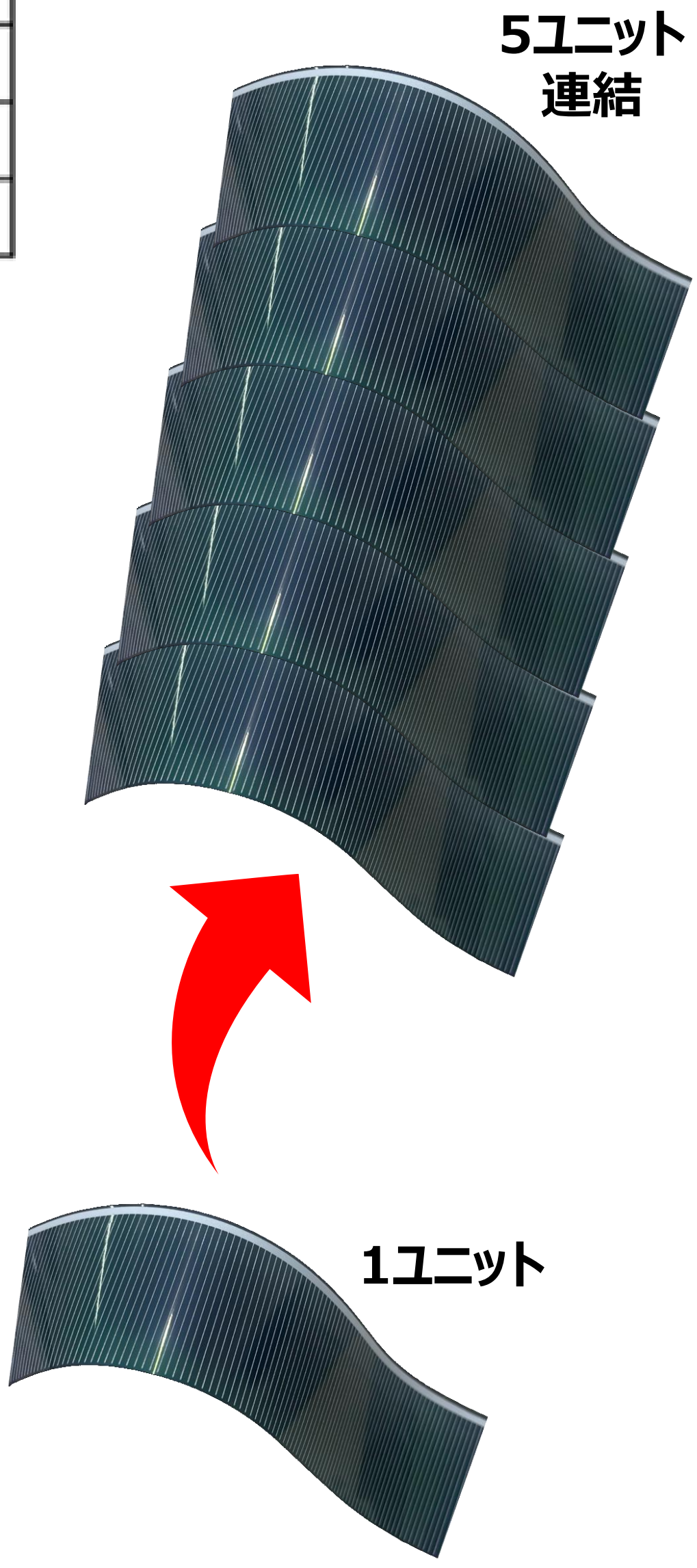


2025年の主な成果



課題と今後の取組

	FY2026	FY2027	FY2028	FY2029
2端子タンデム 変換効率	27%(1cm ²) 22%(モジュール)	29%(1cm ²) 28%(モジュール)		31.5%(1cm ²) 30%(モジュール)
耐久性向上 (光熱耐久性)	500h (85℃1sun)	1000h (85℃1sun)	1500h (85℃1sun)	2000h (85℃1sun)
大面積化	1ユニット拡大 1.0⇒60.8cm ²	5ユニット連結 300.4cm ²		21ユニット連結 1278cm ²



実用化・事業化の見通し

	FY2026	FY2027	FY2028	FY2029	FY2030
屋外実証	少量	数100W級	数kW級	数10kW級	タンデム製品化
量産化	マザー工場建設 年産25MW CIS単層	LINE1工場建設 年産125MW CIS単層	➡	マザー工場改造 タンデム化	LINE1工場改造 タンデム化